

令和5年度授業評価アンケート結果に基づく 令和6年度の授業改善計画報告書

令和5年度授業評価 アンケート結果について	非常に不満	不満	普通	満足	非常に満足	その他
	0%	0%	56%	38%	6%	0%

	全くできなかった	できなかった	どちらでもない	出来た	よく出来た	その他
シラバスに基づいた授業展開	0%	6%	6%	75%	13%	0%
シラバスに記載したCP, DPの対応	0%	0%	12.5%	75%	12.5%	0%
来年度に向けた改善点の抽出	0%	0%	19%	75%	6%	0%

令和5年度授業評価 アンケート結果による 自己評価(抜粋)	昨年度から改善したことが今年度の結果に結びついたといえる。
	学生の理解度や関心にも合わせていく必要が感じられました。
	学生の学修効果を最大限に上げることを目的として教員の教育技術の向上が求められている。学生の授業アンケートからは、私の授業には熱意が感じられないこと、学生が積極的に質問を行わないことが大きな問題としてうかがい知れる。
	一部シラバス通りに行えなかった科目については、6年度に改善できる見込みが付いた。学生に対する応答では最善を尽くしたが、やや学生からの不満が残ったようであるので、公平な対応を6年度は更に心掛けるつもりである。
	授業に前向きに参加してくれる学生とそうでない学生がいるため、なかなか難しいと感じています。

令和5年度に向けて、 授業改善を行いたい項目 (複数選択可)	授業計画(シラバス内容)	教材の開発	授業の準備	教授法	成績評価	クラスルームの活用
	31%	50%	31%	50%	25%	31%
	その他(全学共通LMSのCanvasを活用など)					
	6%					

令和5年度の授業改善計画 (抜粋)	今後の授業の改善方略として、授業の構成を見直して学生に自ら考えるようにしむけるように改善すること、学生の興味をより引くような教材を用いるようにすること、さらに授業の進め方を双方向性に変えることにより学生とのコミュニケーションの改善を行うように改善する。
	全学共通LMSのCanvasを活用して効率的、効果的な学修方法を実践する計画である。
	受講学生の学力格差が大きいと、それぞれのレベルに合わせた課題の作成や、個別のアドバイスに費やす時間を増やし、全体の学力向上を図りたい。
	令和5年度は、丁寧に教えようとすると時間がかかってしまい、シラバスの内容通りに進まないことがありました。令和6年度は、シラバスを時間的余裕を持たせた内容にいたしました。丁寧に教えつつ進度も保てるようにしたいと思っております。それから、授業内容にあった教材を適宜採用していきたいと思っております。